

2018年11月13日

各位

会社名 株式会社グローバルグループ  
代表者名 代表取締役社長 石橋 宜忠  
(コード：6189、東証第一部)  
問合せ先 財務IR部長 生川 雅也  
(TEL. 03-3221-3770)

**通期連結業績予想値と実績値との差異及び  
特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ**

当社は、2018年9月期において特別損失（減損損失）を計上し、2018年5月11日に公表いたしました2018年9月期の業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2018年9月期通期連結業績予想値と実績値の差異（2017年10月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 17,000	百万円 370	百万円 1,700	百万円 1,150	円 銭 129.40
今回実績（B）	17,032	337	1,917	559	62.63
増減額（B-A）	32	△32	217	△590	—
増減率（%）	0.2	△8.6	12.8	△51.4	—
（ご参考）前期実績 （2017年9月期）	13,155	407	1,477	791	95.22

2. 差異の理由

売上高につきましては、計画どおりに推移したものの、次期の採用を見越した職員数の増加に伴う人件費増加等により営業利益は業績予想値を下回りました。一方で、新規開設に伴う補助金収入について想定以上に支給された施設があり経常利益は予想値を上回りました。しかしながら、親会社株主に帰属する当期純利益は減損損失の計上により予想値を下回る結果となりました。

3. 特別損失（減損損失）の内容

当社グループは、主に保育施設の内装設備について固定資産を保有しております。この固定資産について、将来の待機児童解消を前提に入所率等を保守的に見積り、保育設備に係る投資額と投資期間を通じた回収可能額について比較検討いたしました。その結果、投資回収期間の長期化が想定される保育施設に係る固定資産について減損処理を行い、1,268百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

以上